

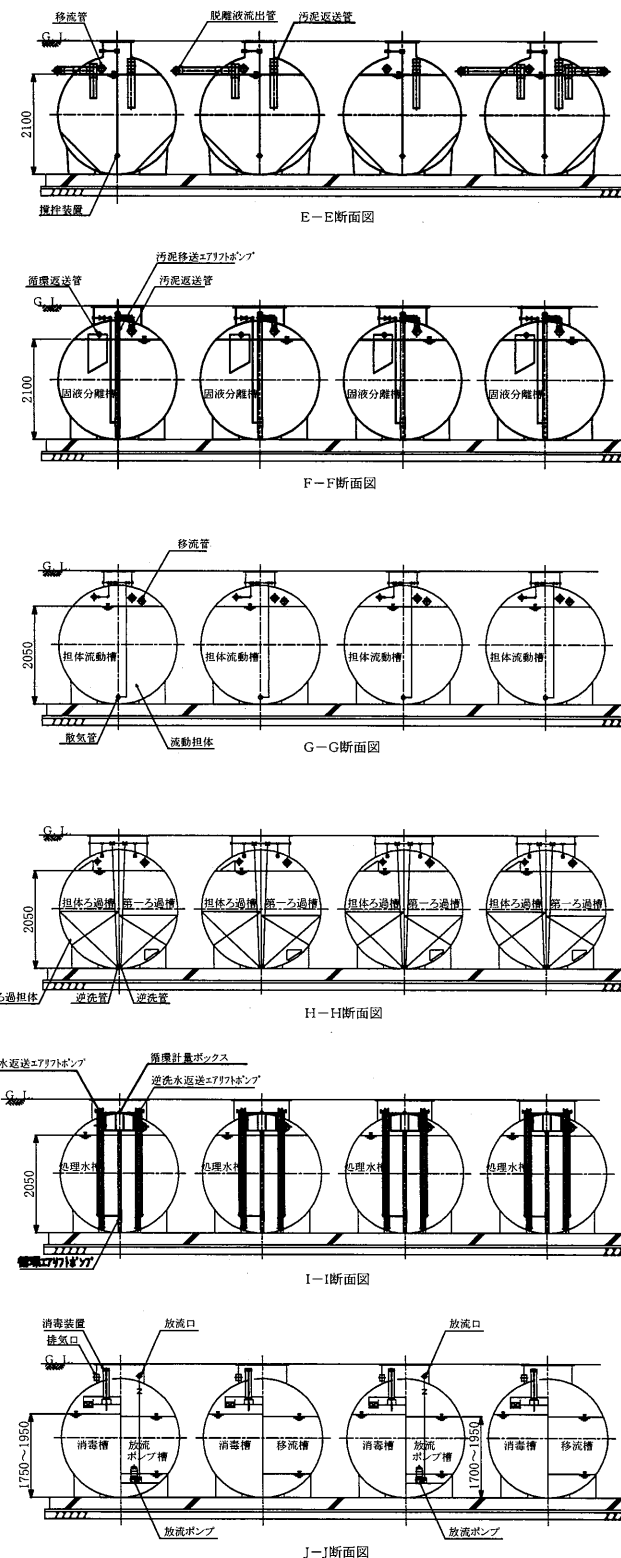
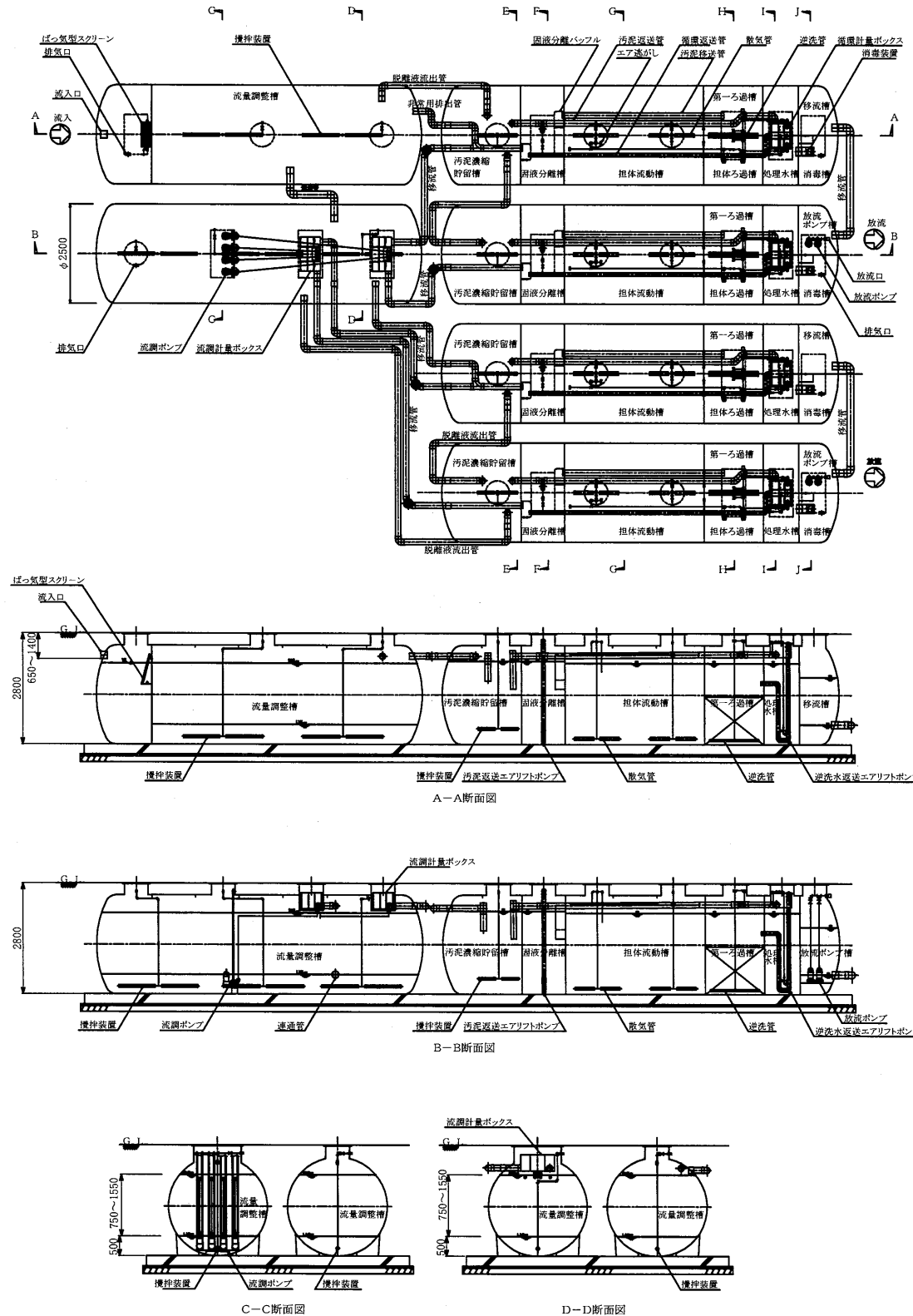
型式適合認定書別添仕様書及び図面

建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定による流量調整型担体流動ろ過循環方式
 【大臣認定番号(認定年月日) : DW3N-0169 (平成30年6月12日)】

会社名

藤吉工業株式会社
 〒453-0801 名古屋市千代田区太閤4丁目2番8号
 電話052-451-8261

型式	フジシヨウ浄化槽 FRZ-AB		
型式適合認定番号	型01Caf0a1054698	認定年月日	令和3年1月8日
処理対象人員	51人~500人	日平均汚水量	10.2~300.0m ³ /日
流入BOD	50~450mg/L		
放流水質	大臣認定による性能 : BOD 20mg/L 以下, COD 30mg/L 以下 SS 10mg/L 以下, pH 5.8~8.6 大腸菌群数 3,000個/cm ³ 以下 n-ヘキサン抽出物質 20mg/L 以下		



- ※流量調整槽は1管体もしくは複数のFRP製管体を連続して配置する。
- ※汚泥濃縮貯留槽以降の管体は、1管体もしくは複数の同構造の管体を並列に配置する。
- ※流量調整計量ボックスは2分配または3分配とする。
- ※放流(ポンプ)槽は2~4系列ごとにまとめる場合がある。
- ※脱離液流出管は合流せず、それぞれの系列から流量調整槽へ配管する場合がある。
- ※非常用排出管はいずれかの汚泥濃縮貯留槽以降の管体の移流管と合流し固液分離槽へ配管する場合がある。

仕様表				
有効容量 (m ³)	ばっ気型スクリーン	0.590~10.870		
	流量調整槽	3.848~218.322		
	固液分離槽	3.520~35.208		
	第一ろ過槽	1.589~15.896		
	担体流動槽	3.445~135.670		
	担体ろ過槽	1.589~15.896		
	処理水槽	3.876~38.763		
	消毒槽	放流ポンプ槽付き 1.551~15.794、自然放流 1.733~17.338		
	汚泥濃縮貯留槽	3.911~155.940		
	寸法 (mm)	ばっ気型スクリーン	幅900~2500	長さ750~3000 深さ1000~1750
流量調整槽		幅2500	長さ2700~62300 深さ750~1550	
固液分離槽		幅2500	長さ800~8000 深さ2100	
第一ろ過槽		幅1250	長さ800~8000 深さ2050	
担体流動槽		幅2500	長さ900~31500 深さ2050	
担体ろ過槽		幅1250	長さ800~8000 深さ2050	
処理水槽		幅2500	長さ900~9000 深さ2050	
消毒槽		放流ポンプ槽付き W1250、L1000~10000×H1750 自然放流 W1250、L1000~10000×H1750~1950		
汚泥濃縮貯留槽		幅2500	長さ1100~39500 深さ2100	
材料及び機械設備の仕様		躯体	材質:FRP(ガラス繊維強化プラスチック) 板厚8mm以上	
	仕切板	材質:FRP(ガラス繊維強化プラスチック) 板厚6~9mm以上		
	第一ろ過槽	形状	中空円筒状	
		材質	PPまたはPE	
		寸法	φ14~16×L15mm	
	担体流動槽	BOD容積負荷	1.00kg/m ³ ・日以下	
		充填率	30~55%	
		形状	角形スポンジ状	
	担体ろ過槽	材質	PUまたはPVA	
		寸法	20□×20mm	
比表面積		300m ² /m ³ 以上		
仕切板	形状	中空円筒状		
	材質	PPまたはPE		
	寸法	φ14~16×L15mm		
比表面積	380m ² /m ³			
薬剤接触時間	15分以上			
薬剤の種類と接触方法	塩素錠剤・浸漬式			
薬剤の貯留日数	14日以上			
送風機	形状	ダイヤフラム式またはロータリー式またはルーソ式		
吐出風量	60~12,840L/分			
台数	2台以上			
流入管・移流管 放流管 汚泥移送管・エアリフ管 送気管 マンホール チェッカープレート	材質	PVC(硬質塩化ビニール)	内径(mm)	40~300
		PVC		40~150
		PVC		13~100
		铸铁/レジンコンクリート プラスチック(PP/FRP)		600
铸铁/FRP	600×1000			
		600×1200		
		750×1150		
		750×1650		
		1200×1200		

注)寸法の単位はmm、容量の単位はm³とする
 注)容量、寸法については範囲で示す。
 注)「深さ」は有効水深とする。

- 特記事項
- ・振動・騒音・防音対策は必要に応じて行う。
 - ・流入・設置条件によりオプション槽を組み合わせる。
 - ・オプション槽とは原水ポンプ槽、油水分離槽、汚水貯留槽、処理水貯留槽、水中ブロウ槽などを言う。
 - ・必要に応じて消泡装置を設ける場合がある。
 - ・脱離液流出管は合流せず、それぞれの系列から流量調整槽へ配管する場合がある。
 - ・非常用排出管はいずれかの系列の移流管と合流し固液分離槽へ配管する場合がある。
 - 保守点検の頻度 : 1回/2週 以上
 - 清掃の頻度 : 1回/2週 以上